

事務事業名	精神障がい者通院医療費助成事業	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
政策名	総合計画(Ⅲ)地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	障がい者福祉G	課長名	中島 豊
施策名	(19)障がい者福祉の充実	担当者名	吉川 真知子	電話番号(内線)	0854-40-1042
基本事業名	(056)福祉サービスの充実	予算科目	会計 1 1 5 5 4 5 1 1 5 1 1	中事業	3618 精神障がい者通院医療費助成事業

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~年度)	精神障がい者が自立支援医療費の精神疾病により医療機関等に支払う一部負担金の一部を助成する事業	精神障がい者の健康の保持及び福祉の増進を図る目的で合併前より実施

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
扶助費 8,589,859円	事業費						
	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円	8,429	9,085	8,590	8,660	
	事業費計(A)	千円	8,429	9,085	8,590	8,660	0
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費						
業務の流れ:①支給認定申請書を受け②支給要件の審査をし認定の可否を決定する③認定した受給者から通院費請求書を受け④その内容を審査し、支給する	正規職員従事人数	人	7	7	7		
	延べ業務時間	時間	876	876	877		
	人件費計(B)	千円	3,341	3,406	3,457	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	11,770	12,491	12,047	8,660	0

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	精神障がい者に対し通院医療費を支給した	ア 助成認定者数	人	669	691	710	730		
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	イ							
	精神障がい者に対し通院医療費を支給する	ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	精神障がい者を事由に障害者自立支援法第52条に規定する自立支援医療費の支給認定を受けており、現に通院による治療を受けている者	⑥ 対象指標							
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	ア 精神を事由に通院により治療を受けている患者数(自立)	人	680	716	765	817		
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑦ 成果指標							
	精神障がい者の健康の保持及び福祉の増進を図り、日常生活を支障なく送っていただく。そして最終的には自立した生活を送っていただく	ア 支給を受けた精神障がい者数(実人数)	人	553	576	710	758		
	⑧ 上位成果指標								
		ア 障がい者が社会参加しやすい環境である市民の割合	%	24.2	25.7	24.9			
		イ							

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
自立支援医療(精神通院医療)対象者が年約1割ずつのペースで増加している	障害者自立支援法の施行に伴い精神障がい者の自己負担額が増えたことにより、平成18年度より医療費の5%助成を7.5%助成とした	ごく少数ではあるが、助成対象者より請求の手続きを省略するために委任払を実施する医療機関を増やしてほしいとの要望あり

事務事業名	精神障がい者通院医療費助成事業	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
-------	-----------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 障がい者の自立の促進につながる
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 精神障がい者の通院治療の促進は市の義務である
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 精神障がい者の健康の保持及び福祉の増進を図る事業であり対象は限定されている
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 年々、支給を受けた精神障がい者数増加により成果は向上しているが、コントロールできない要素である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 精神を事由に通院治療を受けていた障がい者が通院を控え、状態が悪化するすることが考えられる
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似事業がない
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業と成果は連動している
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 請求方法(請求の時期を指定など)や支払方法等を見直すことができれば業務時間は削減されると考える
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 精神障がい者は他の障がい者に比べて通院を控え症状が悪化する者が多いために、当該障がい者の通院治療を促進することを目的とした事業であるため不公平ではない

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	精神障がい者は他の障がい者に比べて通院を控え症状が悪化する者が多いために、当該障がい者の通院治療を促進する必要があり、引き続き事業を続ける必要がある																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持低下</td> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持低下	●		×				×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持低下	●		×																					
			×	×																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									
制度の変更について対象者に理解を得ることが難しい																									